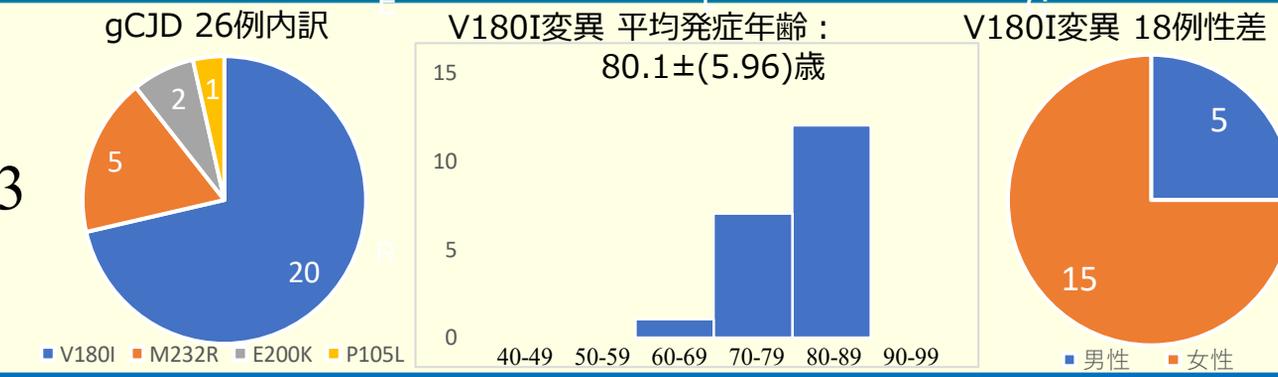
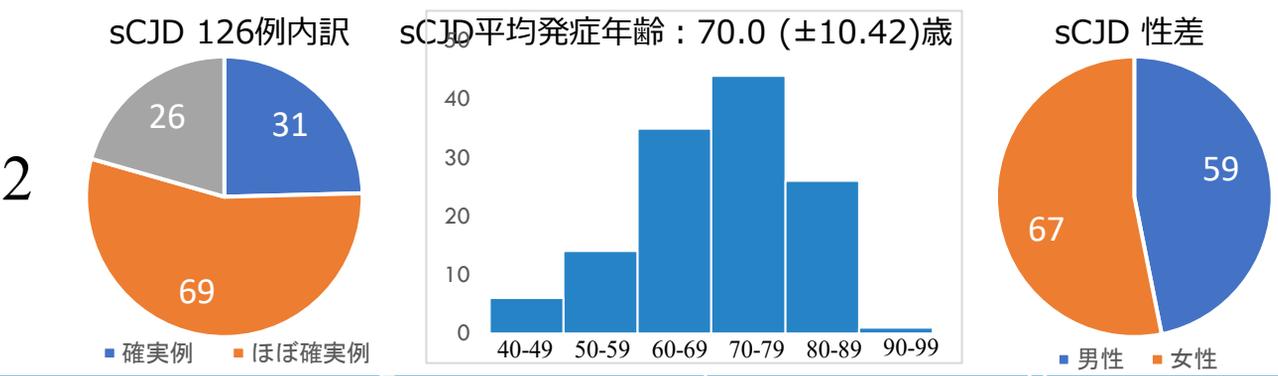
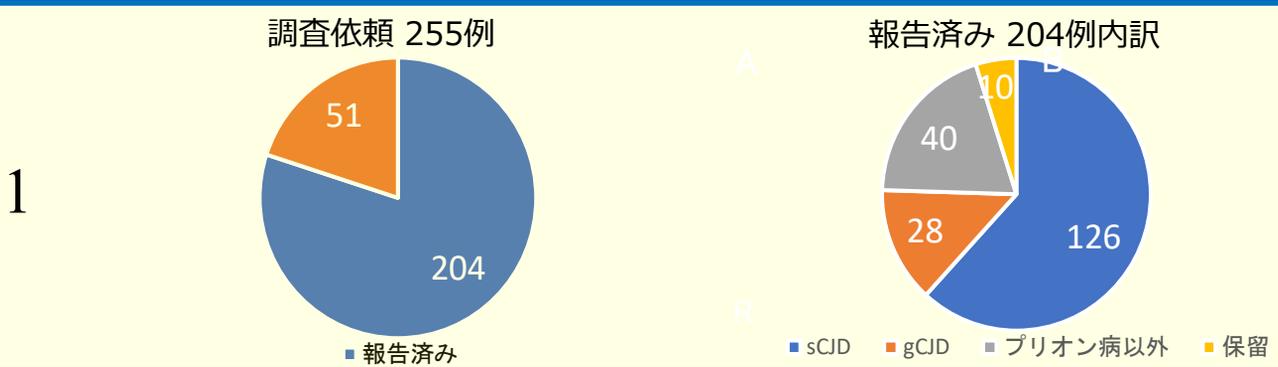


2023年度 愛知、岐阜、三重の 3県におけるプリオン病サーベイランス結果

研究分担者： 愛知医科大学神経内科 道勇 学



解説

- 平成29年4月から令和6年2月までの期間中に255例の調査依頼があり、このうち、検討委員会において報告したのは204例。内訳は、sCJD 126例、gCJD 28例、プリオン病以外の症例 40例、保留10例であった。
- sCJD 126例(確実例 31例、ほぼ確実例 69例、疑い例 26例)の平均発症年齢は70.0歳で、男女比は男性59例(46.8%)、女性67例(53.2%)であった。
- gCJD 18例はV180I変異20例、M232R変異5例、E200K変異2例、GSS(P105L変異)1例。V180I変異症例は平均発症年齢80.1 (±5.96)歳で男性5例、女性15例であった。